

式 辞

暖かな日差しに、校内ではコバノミツバツツジが美しく咲きほこる今日の佳き日、奈良県立国際高等学校令和3年度入学式をこのように執り行うことができますことは、私たち教職員にとって大きな喜びです。また、お子様をここまで見守り、支えてこられました保護者の皆様には、新たな出発の日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

変化がますます激しくなるこれからの時代を生きる子どもたちには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することが求められます。このような時代の要請を受け、「新たな価値を創造する場」として、県立国際高等学校が昨年度開校いたしました。県立国際高等学校は、多様な人々と積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成することを Mission としています。

さて、現在、新型コロナウイルス感染症は、私たちの生命や生活のみならず、社会、経済、行動・意識・価値観にまで影響を及ぼしています。私たち一人一人、そして社会全体が、未知の課題、答えのない課題にどう立ち向かうのかが問われています。このような時代にこそ必要なのは、まさしく「新たな価値を創造できる力」です。持続可能な社会の実現に向けて、身近な出来事から解決すべき課題を見だし、知識を活用し、多様な立場の仲間と協働しながら、最適解を生み出すことのできる力です。様々な試練があってもそれを克服し、解決に向かう力も必要となります。国際高等学校では、授業はもちろんのこと、学校行事などすべての教育活動を通じて、これらの力を育み、国際社会の平和と発展に貢献することのできる人材を育成していきたいと考えています。

先ほど入学を許可しました二期生の皆さん、数ある学校の中から、本校を選んでくれて本当にありがとうございます。皆さんはこの学校を創造する開拓者（パイオニア）です。一期生の先輩方とともに県立国際高等学校の新たな歴史を共に創っていきましょう。

保護者の皆様、国際高等学校の理念をご理解くださり、お子様を本校に託していただきましたことを心より感謝申し上げます。大切なお子様が、この学び舎で未来を切り開く力をつけて巣立っていかれるまで、責任を持ってお預かりいたします。

教職員の皆さん、生徒たち一人一人の輝かしい未来のために、共に手を取りあって、子どもたちを育てていきましょう。

登美ヶ丘高等学校の生徒、教職員、保護者の皆さま、入学生をあたたかく迎えてくださりありがとうございます。両校の教育活動が充実したものになるよう、力を尽くしてまいります。

そして、最後になりましたが、国際教養大学、日本国際交流振興会、国連世界観光機関駐日事務所をはじめ関係機関すべての皆様、これからもこの国際高等学校を共に育てていただきますようお願いいたします。

ここにいるすべての皆さん、関係者の皆様とともに、新たな価値を創造する学校づくりに邁進することをここに誓い、式辞とさせていただきます。

令和3年4月9日

奈良県立国際高等学校 校長 中尾 雪路